



歴史館だより 令和5年新春号 Vol.16

発行：出水麓歴史館 鹿児島県出水市麓町10番39号 0996-68-1390

出水麓・令和5年開催予定の催しのご案内

新年明けましておめでとうございます。

今年も邪気退散を願うばかりの新春となってしまいましたが、本館では今年も様々な企画の準備を粛々と進めているところです。ぜひ今年も、引き続いてのご支援とご協力をお願い申し上げます。

以下、今年前半に本館ならびに出水麓周辺で開催が予定されている行事を紹介します。なお、本館以外の団体等の主催行事は、末尾に問合せ先を掲示しています。詳細はそちらでご確認ください。

2月1日(水) 竹添邸、税所邸 ひな人形飾り展示 (～3月31日)

*3月3日は抹茶と和菓子のおもてなし(有料)

→ 出水麓街なみ保存会 0996(62)5505



2月4日(土)～2月12日(日) DENKEN WEEK IZUMI 2023 → <http://denken-izumi.jp/>

2月12日(日) 9:00～10:30スタート(事前予約必要) おれんじオルレ

巖島神社(大川内)～出水麓歴史館[13.8km]

参加料1500円/人 先着200名 → 出水市商工観光課 0996(63)4059

2月16日(木)～5月16日(火) 9:00～17:00 (入館は16:30まで) 無料(常設展、VRは有料)

企画展「竹と出水郷土の日常」および
併設展「出水発・現代竹アートの世界」

*詳細は次ページをご覧ください。

2月26日(日) 出水麓武家屋敷ウォークラリー スタート 9:00 中学生以上 1000円/小学生 500円

未就学児無料 定員200名 → 北薩法人会事務局 0996(62)1338

3月18日(土)～3月27日(月) 出水麓時空ツアーズイベント

挑戦者大募集!

「VRでGO! クイズに答えて目指せ、出水の地頭!! 2023」

*詳細は4ページをご覧ください。

5月4日(木)、5日(金) 子供甲冑無料体験 税所邸

*同伴の大人の甲冑体験は有料(3000円)

→ 出水麓街なみ保存会 0996(62)5505



★毎月第2日曜日★ 「出水麓体験の日～着物・浴衣・甲冑・牛車体験の日～」

出水麓では、定期的な体験プログラムの提供が行われています。

※事前予約制となります。体験日の3日前までにご予約が必要です。

→ 出水市観光特産品協会 0996(79)3030

企画展のご案内



企画展「竹と出水郷士の日常」 併設展「出水発・現代竹アートの世界」

期間：令和5年2月16日（木）～令和5年5月16日（火）9：00～17：00

ただし毎月、第3水曜日は休館日です。

場所：出水麓歴史館 多目的室

観覧料：無料（常設展示室およびVR体験は有料です）

江戸時代、「半士半農」「自給自足」を大原則とし、自らを厳しく律して北薩の警固にあたった出水郷士たち。

今回の企画展ではそうした出水郷士たちの日常に欠かせなかった弓矢などの武具や竹製の生活用具に注目して、その用途や使

い方などを、現物展示を通じてわかりやすく紹介します。（写真は明治

時代の出水麓での弓道大会の様子）

また、竹の豊富な出水市にとって、多彩でおいしい筍や竹工芸は新たな観光資源としての可能性を秘めています。

そこで企画展にあわせて、併設展として出水市在住の気鋭の工芸作家二人のモダンな竹アートを展示します。

江戸時代の竹具を通じて先人の知恵を学ぶとともに、優雅な現代竹アートの世界をご堪能ください。なお、春から夏にかけては様々な筍のシーズンが続きます。ご観覧のあとは、旬の筍料理に挑戦してみたいはいかがでしょうか。

写真：「たかんばっちょ」（出水方言。「竹の番匠笠」が語源）

出水だけでなく、広く西日本で普及していた日よけ用の笠。主に戸外の農作業や大工仕事で利用された。語源の番匠とは大工の親方のこと。被覆材には真竹の皮を使い、竹ひごと糸で固定する。軽くて丈夫で遮光性があると同時に撥水性があり、急な雨にも対応できる天然の優れもの。「ばっちょがさ」ともいう。



フォトギャラリー（本館の活動紹介）



バレーボールVリーグ「ヴィクトリーナ姫路」の選手の皆さんが来館！真ん中のマネージャーさんは米ノ津出身!!

アメリカ・アイダホ州からご兄弟で着物体験！ドラゴンランタンと記念撮影。

毎年恒例！出水高校1年生による「史跡巡り」。歴史館は毎年チェックポイントになっています。

歴史発見

スクープ▶

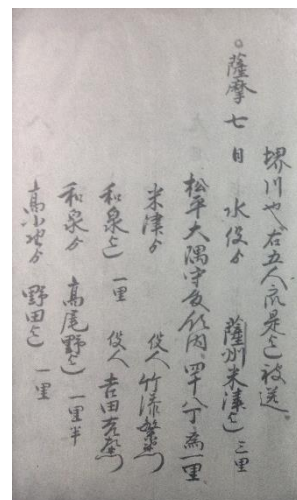
「水戸黄門」の助さんが出水に来ていた！



テレビ番組で有名な『水戸黄門』ですが、ご存知のとおり、黄門様は水戸の偉いご老公でした。大変な歴史好きでしたが、安全上の理由などから全国を渡り歩くことなど、とてもできない相談でした。

その代わりに、多くの水戸徳川家の学識ある家臣たちが手分けをして全国の国情や地理、歴史を調べてまわり、その後二百数十年をかけて『大日本史』という膨大な歴史書を作りました。その中の優秀な研究者が助さんだったというわけです。助さんこと佐々介三郎は、貞享二年（1685）ご老公（実はその当時は藩主）から命を受け、助手の丸山可澄とともに九州、中国、北陸地方をめぐる旅に出かけました。

丸山が書き残した『筑紫巡遊日録』という日記（右掲写真）によると、同年7月7日に水俣から米ノ津に入り、出水、高尾野を通過して野田に宿泊しています。旅の狙いは神社仏閣の故事来歴の調査だったので、加紫久利神社の由緒書など、応接に当たった竹添繁右衛門などに所望してせっせと書き写したことでしょう。



この日記は、国会図書館デジタルコレクションにアクセスすれば誰でも見ることができます。なお、介三郎は佐々成政（秀吉時代の肥後国大名）の一族で、浪人、僧侶、水戸家仕官と、波乱万丈の生涯を送っています。

参考文献：『助さん・佐々介三郎の旅人生』（但野正弘著）

挑戦者大募集！▶出水麓時空ツアーズイベント 「VRでGO! クイズに答えて目指せ、出水の地頭!! 2023」



出水麓歴史館では2021年3月にVR「出水麓時空ツアーズ」を搭載したライドマシンを導入しました。今回2周年を迎えるにあたり、VRを楽しみながら歴史クイズに答えるイベント「VRでGO! クイズに答えて目指せ、出水の地頭!! 2023」を昨年3月の第1回に続いて開催します。



参加要領は簡単！ VRの体験後に、VRに出てきた出水麓に関する10問のクイズに回答するだけです。クイズへの回答期間は3月18日（土）から27日（月）までです。万全なコロナ対策ご準備のうえ、奮ってご参加ください。

（写真は今年のイベントの様子。VR体験後に10の設問に答える）

あとがきに代えて ----- 出水麓の植栽
タケノコ（筍）の美味しい話



そろそろタケノコの美味しい季節がやってきます。まさに竹の旬が「筍」というわけですね。

ところでタケノコの旬は3月末から5月上旬に限られるというのが「日本の常識」なのですが、うれしいことに鹿児島は、ナナ！何と一年中、タケノコの旬が続くのです!!

春先から本格的な孟宗竹、5月には淡竹（ハチク）、続けてこさん竹、真竹、夏には大名竹、沈竹、秋にはシカク竹、寒竹、冬には早掘り筍…と、年間通じて種類の違うタケノコの味を楽しむのが「鹿児島の常識」なのです。

しかも、いわゆるタケノコ（孟宗竹）よりもおいしいのです！

もちろん好みによりますが、鹿児島では「でめ子さんからはちいもそ」といい、おいしい順に大名竹（でめ竹）、こさん竹、から竹（真竹）、淡竹（はちっ）、最後に孟宗竹とされています。

タケノコ好きにはたまらない魅力といえるでしょうが、そのことを知る日本人は少ないようです。なぜならこうしたタケノコは日持ちがしないうえに生産額も少ないために、大消費地の店先には出回らないからです。

しかしIT技術を活用すれば、一大特産品に大化けするかもしれません。

鹿児島県は竹林面積日本一ですが、まさにタケノコの王国でもあるのです。